

ユネスコスクール加盟認定校

板橋第二小 環境教育へのこれまでの取り組み



ユネスコスクール
加盟証

ゲストティーチャーを迎え、児童の自然への愛着心をより高められるような活動をしました。



校内にはビオトープの四季を掲示してあります。



全校で、定期的に学校の周りの神社や公園に清掃に出かけています。



ビオトープは、平成26年11月、地域の方々の手を借り、できました。それ以来、板二小の環境教育の中心です。

ビオトープを作るときには、子供たち自身がアイデアを出し合い、設計図を作りました。



ビオトープは管理・維持することが大切です。生き物が住みやすい環境になるための活動をしています。

ビオトープを中心にして

図工では、授業で使った画用紙の切れ端をリサイクルしました。紙粘土に姿を変え、マグネットを作りました。



池の中にはメダカがいます。池で生まれたオタマジャクシがカエルになり、産卵に戻ります。



全学年で、季節の俳句作りに取り組んでいます。



自然発見カードに全学年で取り組んでいます。



校庭の隅には、カブトムシの餌となる落ち葉を集めた場所があります。



SDGsの中からテーマを選び、ポスターを作って校内に掲示しました。



生活科・理科で野菜を育てています。



「環境委員会」はビオトープの整備を始めとして、児童がより環境に親しめるような働きかけをしています。



総合的な学習の時間で、緑のカーテンに取り組みました。



地域の方々も定期的に花壇の整備に来てくださっています。



学校には、校庭の自然環境マップもあります。

